

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年7月15日

【四半期会計期間】 第55期第1四半期(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

【会社名】 エスフーズ株式会社

【英訳名】 S Foods Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村 上 真 之 助

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 湯 浅 庸 介

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 湯 浅 庸 介

【縦覧に供する場所】 エスフーズ株式会社東京支店
(千葉県船橋市高瀬町6番)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第1四半期 連結累計期間	第55期 第1四半期 連結累計期間	第54期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (百万円)	86,253	77,531	351,972
経常利益 (百万円)	2,525	1,630	11,085
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1,482	1,177	6,511
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	33	1,775	2,214
純資産額 (百万円)	85,099	87,085	86,348
総資産額 (百万円)	173,056	181,256	171,071
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	46.81	37.17	205.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.7	44.5	46.8

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、今後の経過によっては当社グループの事業活動及び収益確保に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結会計期間における日本経済は、感染が広がる新型コロナウイルス感染症の影響で多くの業界において未曾有の危機的状況に陥りました。当食肉業界においては、業態に濃淡はあるものの、海外からの渡航規制と広範囲にわたる営業自粛のため、高級商材を中心に打撃を受けております。

このような状況のもと、当社グループは、食品の供給というエッセンシャルワークを行う事業者として、食肉商品の安定的供給と事業継続のための方策を模索しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、安定的に事業を継続することを主眼に諸施策を行いました。営業、製造それぞれの現場において、感染防止のための衛生管理の徹底、勤務体制の見直し、事業継続計画の実施などを行い、食品の流通に支障が出ないように業務を遂行いたしました。特に、製造事業においては、国民の生活様式の急激な変化による新たな需要に対応するため、新たな製品作りに取り組みました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安心・安全な食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、3月に至り、特に大型商業施設の一斉休業から複数の店舗で休業となり、その後首都圏店舗を中心に多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりました。その間、今後の営業再開を目指し、様々な感染症拡大予防への対策を準備するとともに、デリバリー需要の獲得など新たなサービスや付加価値を提供していけるよう推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響で販売価格が下落したことなどにより、売上高775億3千1百万円（前年同四半期比10.1%減）、営業利益18億9千4百万円（前年同四半期比23.3%減）、経常利益16億3千万円（前年同四半期比35.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億7千7百万円（前年同四半期比20.6%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

食肉等の製造・卸売事業

売上高は695億5千1百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は16億1千7百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

食肉等の小売事業

売上高は58億3千5百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益は5億7千9百万円（前年同四半期比101.1%増）となりました。

食肉等の外食事業

売上高は18億2千4百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は2千1百万円（前年同四半期比74.2%減）となりました。

その他

売上高は3億1千8百万円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント損失は5千万円（前第1四半期連結累計期間3千6百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて101億8千4百万円増加し、1,812億5千6百万円となりました。これは主に、売上高減少に伴う売上債権が減少した一方で、現金及び預金の増加及びたな卸資産の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて94億4千8百万円増加し、941億7千1百万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7億3千6百万円増加し、870億8千5百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の当社グループが支出した研究開発費の総額は4千7百万円であります。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等について、当第1四半期連結累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資総額 (百万円)	完了年月
㈱北海道中央牧場	北海道幌泉郡 えりも町	食肉等の 製造・卸売事業	生産育成設備	3,007	2020年5月

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,267,721	32,267,721	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	32,267,721	32,267,721	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年5月31日	-	32,267,721	-	4,298	-	11,881

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 597,900	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 31,655,200	316,552	-
単元未満株式	普通株式 14,621	-	-
発行済株式総数	32,267,721	-	-
総株主の議決権	-	316,552	-

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が220株含まれております。

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
（自己保有株式） エスフーズ株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13	597,900		597,900	1.85
計		597,900		597,900	1.85

（注）当第1四半期会計期間末日（2020年5月31日）現在の自己株式は598,594株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,644	35,888
受取手形及び売掛金	37,314	35,573
商品及び製品	21,723	27,046
仕掛品	1,215	1,276
原材料及び貯蔵品	2,778	3,453
その他	3,692	3,534
貸倒引当金	140	126
流動資産合計	97,228	106,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,764	54,515
減価償却累計額	24,401	24,203
建物及び構築物(純額)	28,363	30,311
土地	17,363	16,893
その他	35,756	33,839
減価償却累計額	22,352	21,954
その他(純額)	13,403	11,884
減損損失累計額	2,099	2,014
有形固定資産合計	57,030	57,074
無形固定資産		
のれん	168	151
その他	557	583
無形固定資産合計	726	734
投資その他の資産		
投資有価証券	12,622	13,325
退職給付に係る資産	117	118
その他	3,621	3,567
貸倒引当金	276	210
投資その他の資産合計	16,085	16,801
固定資産合計	73,842	74,610
資産合計	171,071	181,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,569	30,810
短期借入金	8,952	18,191
未払法人税等	1,823	1,061
賞与引当金	1,000	1,422
その他	12,231	11,755
流動負債合計	52,577	63,242
固定負債		
社債	1,120	1,040
長期借入金	26,730	25,346
役員退職慰労引当金	198	202
退職給付に係る負債	1,989	1,993
その他	2,107	2,345
固定負債合計	32,145	30,929
負債合計	84,722	94,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,707	18,709
利益剰余金	54,801	55,028
自己株式	418	418
株主資本合計	77,389	77,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,414	2,876
繰延ヘッジ損益	11	7
為替換算調整勘定	299	237
退職給付に係る調整累計額	29	26
その他の包括利益累計額合計	2,673	3,079
非支配株主持分	6,286	6,388
純資産合計	86,348	87,085
負債純資産合計	171,071	181,256

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	86,253	77,531
売上原価	74,503	66,002
売上総利益	11,749	11,529
販売費及び一般管理費	9,278	9,634
営業利益	2,471	1,894
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	43	4
受取家賃	41	36
持分法による投資利益	2	7
その他	119	115
営業外収益合計	217	183
営業外費用		
支払利息	67	68
アレンジメントフィー	-	106
為替差損	64	208
賃貸原価	18	26
その他	13	37
営業外費用合計	162	446
経常利益	2,525	1,630
特別利益		
固定資産売却益	0	695
投資有価証券売却益	0	-
補助金収入	-	184
負ののれん発生益	30	-
受取保険金	5	-
受取補償金	31	3
特別利益合計	67	883
特別損失		
固定資産処分損	33	13
減損損失	-	8
店舗閉鎖損失	-	10
店舗休止等損失	-	5
災害による損失	30	-
固定資産圧縮損	-	181
その他	0	-
特別損失合計	63	219
税金等調整前四半期純利益	2,530	2,294
法人税等	934	931
四半期純利益	1,595	1,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,482	1,177

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	1,595	1,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,597	469
繰延ヘッジ損益	7	3
為替換算調整勘定	30	56
退職給付に係る調整額	0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	1	6
その他の包括利益合計	1,562	413
四半期包括利益	33	1,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72	1,582
非支配株主に係る四半期包括利益	105	193

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響については、不確実性が大きく将来の事業計画等の見込数値に反映させることが難しい要素がありますが、見積り項目に与える影響は軽微であると考えております。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を置いて固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社等の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証（連帯保証）を行っております。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
株式会社カーサ	150百万円	株式会社カーサ 145百万円
株式会社遠野牧場	316百万円	株式会社遠野牧場 294百万円
株式会社日高はなはなファーム	415百万円	株式会社日高はなはなファーム 406百万円
株式会社豊頃中央農場	563百万円	株式会社豊頃中央農場 554百万円
株式会社十勝中央農場	662百万円	株式会社十勝中央農場 652百万円
S FOODS SINGAPORE PTE.LTD.	647百万円	S FOODS SINGAPORE PTE.LTD. 626百万円
S FOODS NZ LIMITED	947百万円	S FOODS NZ LIMITED 915百万円
株式会社すぎもとファーム千代ヶ岡	945百万円	株式会社すぎもとファーム千代ヶ岡 931百万円
株式会社ドリームグラウンド	1,000百万円	株式会社ドリームグラウンド 986百万円
株式会社サバイファーム	1,000百万円	株式会社サバイファーム 1,000百万円
金丸 一男他2社	123百万円	金丸 一男他2社 119百万円
計	6,771百万円	計 6,633百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	799百万円	1,138百万円
のれん償却額	17百万円	17百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月22日 定時株主総会	普通株式	886	28.00	2019年2月28日	2019年5月23日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月22日 定時株主総会	普通株式	950	30.00	2020年2月29日	2020年5月25日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,775	5,220	1,929	85,925	327	86,253	-	86,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,084	40	98	2,223	49	2,272	2,272	-
計	80,859	5,261	2,027	88,148	376	88,525	2,272	86,253
セグメント利益	2,429	288	84	2,802	36	2,839	368	2,471

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額 368百万円には、セグメント間取引消去 35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 332百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	69,551	5,835	1,824	77,212	318	77,531	-	77,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,931	53	61	2,046	101	2,148	2,148	-
計	71,483	5,888	1,886	79,258	420	79,679	2,148	77,531
セグメント利益 又は損失()	1,617	579	21	2,219	50	2,168	274	1,894

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 274百万円には、セグメント間取引消去50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 325百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	46.81円	37.17円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	1,482	1,177
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	1,482	1,177
普通株式の期中平均株式数(株)	31,666,152	31,669,469

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

エスフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 井 康 二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 溝 静 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。